

経 営 状 況 報 告 書

令和2年度 事業報告

令和3年度 事業計画

三河港コンテナターミナル 株式会社

I 令和2年度 事業報告

1 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその結果

当社は、平成20年9月に愛知県から三河港豊橋コンテナターミナル管理運営の指定管理業務を受託し、ターミナル施設の円滑な貸付及び保守管理を行い、利用業者へのサービス向上に取り組んでいます。

本年度は、前年度からの7-3号岸壁の改良工事による施設の機能低下を最小限に抑え、円滑な施設運用の確保に努めました。

コンテナ貨物取扱量は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるコンテナ物流の停滞等により、5月から9月にかけて大きく落ち込み、上半期においては前年同期比で31.1%減少し、10月以降の下半期は徐々に回復して持ち直しましたが、年間取扱量は、前年度より6,563TEU減の27,615TEUで19.2%の減となりました。

コンテナ取扱量の減に伴い、ガントリークレーン、ストラドルキャリアなどの貸付料の収入が大幅に減収し、荷役機械の保守点検、減価償却費等の削減することができない固定費が支出面で大きく占めていることにより大幅な経費削減に至らず、大きな損失となりました。

(2) 設備投資の状況

なし

(3) 資金調達の状況

なし

(4) 当社の対処すべき課題

当社は、三河港豊橋コンテナターミナルの機能を活用し、効率的なサービスの提供により、当地域の経済活動及び産業振興に貢献してきましたが、設備の老朽化が進む中、安定稼働の確保には更なる効率的・効果的な維持管理及び計画的な設備更新が求められています。

また、7-3号岸壁の改良工事完了に続き、ガントリークレーンの免震化、電気設備浸水対策及びコンテナ流出防止対策の工事が予定されていますので、関係機関との連絡、調整等を確実に実施して、工事による施設の機能低下を最小限に抑え、円滑な施設運用を確保することが重要と考えています。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響による先行きの不透明感の中でも、三河港の発展及び地域産業の活性化を図るため、既存の荷主企業及び寄港船社には継続利用を働きかけるとともに、新たな荷主企業を獲得するための利用支援策が課題となっています。

(5) 事業成績及び財産の状況

区 分	第11期	第12期	第13期	第14期
	平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで	平成30年4月1日から 平成31年3月31日まで	平成31年4月1日から 令和2年3月31日まで	令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで
売 上 高	159,359千円	154,830千円	149,432千円	118,489千円
当期純損益	529千円	△2,082千円	△105千円	△19,175千円
純 資 産	170,109千円	168,027千円	167,922千円	148,747千円
コンテナ貨物 取扱実績 (20ft換算)	42,699TEU	37,431TEU	34,178TEU	27,615TEU

(注) 売上高については、税抜金額で表示してあります。

(6) 主な事業内容

当地域の国際物流拠点である三河港豊橋コンテナターミナルの管理運営並びにそれに関わる荷役機械、関連施設等の貸付及び保守管理を行っています。

また、PR活動による三河港豊橋コンテナターミナルの利用促進や、荷主又は寄港船社に対する奨励金制度等により港運業者への集荷業務の支援を行っています。

(7) 従業員の状況 (令和3年3月31日現在)

従業員数 2名

II 令和2年度 決算報告

貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
I 【流動資産】	【 110,551,918 】	I 【流動負債】	【 7,687,518 】
現金及び預金	85,777,990	未払金	7,138,748
売掛金	14,875,652	未払法人税等	508,900
貯蔵品	228,411	預り金	39,870
前払費用	5,253,695		
未収入金	4,406,061		
立替金	7,690		
繰延税金資産	2,419		
II 【固定資産】	【 47,642,316 】	II 【固定負債】	【 1,759,634 】
1 〔有形固定資産〕	〔 47,380,140 〕	退職給付引当金	1,198,500
建物	4,440,364	長期繰延税金負債	561,134
建物附属設備	651,415		
車両運搬具	1		
機械装置	42,288,360		
2 〔投資その他の資産〕	〔 262,176 〕		
出資金	30,000		
長期前払費用	232,176		
		負債合計	9,447,152
		純資産の部	
			円
		I 【株主資本】	【 148,747,082 】
		1 資本金	150,000,000
		2 〔利益剰余金〕	〔 △1,252,918 〕
		(その他利益剰余金)	(△1,252,918)
		特別償却準備金	3,031,074
		繰越利益剰余金	△4,283,992
		純資産合計	148,747,082
資産合計	158,194,234	負債・純資産合計	158,194,234

損益計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

科 目	金 額	
I 【 売 上 高 】		円
売 上 高	118,489,237	118,489,237
II 【 売 上 原 価 】		0
売 上 総 利 益		118,489,237
III 【 販 売 費 一 般 管 理 費 】		139,013,255
営 業 損 失		20,524,018
IV 【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	7,802	
受 取 配 当 金	1,200	
雑 収 入	268,481	277,483
経 常 損 失		20,246,535
税 引 前 当 期 純 損 失		20,246,535
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	△1,994,622	
法 人 税 等 調 整 額	923,385	△1,071,237
当 期 純 損 失		19,175,298

株主資本等変動計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：円)

		当期首残高	当期変動額					当期変動額合計	当期末残高	
			新株の発行	剰余金の配当	特別償却準備金の取崩し	当期純利益	自己株式の処分			
株主資本	資本金	150,000,000							150,000,000	
	資本剰余金	資本準備金	0						0	
		その他資本剰余金	0						0	
		資本剰余金合計	0						0	
	利益剰余金	利益準備金	0						0	
		その他利益剰余金	特別償却準備金	6,062,145		△3,031,071			△3,031,071	3,031,074
			繰越利益剰余金	0						0
		繰越利益剰余金	11,860,235			3,031,071	△19,175,298		△16,144,227	△4,283,992
	利益剰余金合計	17,922,380			0	△19,175,298		△19,175,298	△1,252,918	
	自己株式	0							0	
株主資本合計	167,922,380			0	△19,175,298		△19,175,298	148,747,082		
評価・換算差額等	その他有価証券評価差額金	0							0	
	繰延ヘッジ損益	0							0	
	評価・換算差額等合計	0							0	
新株予約権	0							0		
純資産合計	167,922,380			0	△19,175,298		△19,175,298	148,747,082		

Ⅲ 令和3年度 事業計画

1 令和3年度コンテナ取扱量の目標

令和3年度（目標値に関しては、令和3年4月から令和4年3月までの1年度とします。）のコンテナ取扱量を31,200TEUとします。

Ⅳ 令和3年度 収支計画

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

科 目	金 額	
	円	
I 【 売 上 高 】 売 上 高	133,100,000	133,100,000
II 【 売 上 原 価 】 売 上 総 利 益		0
III 【 販 売 費 一 般 管 理 費 】 営 業 損 失		136,321,000
IV 【 営 業 外 収 益 】 受 取 利 息 雑 収 入	3,000 94,000	97,000
V 【 営 業 外 費 用 】 支 払 利 息 経 常 損 失	0	0
税 引 前 当 期 純 損 失		3,124,000
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,100,000	1,100,000
当 期 純 損 失		4,224,000